学校だより

成徳の風

令和８年６月１２日

NO. 4

桑名市立成徳中学校

つながり、学び、成長へ繋げる一歩を　～校外学習・修学旅行から～

各学年が目標を掲げ、校外学習や修学旅行を実施いたしました。



１年生は５月 27 日(水)に朝明茶屋キャンプ場へ赴き、デイキャンプを行いました。大自然の中で新しい仲間と協力し合い、普段の学校生活では見られない新鮮な一面を発見し合う、絆の深まる一日となりました。途中、雨に降られましたが、室長会を中心とし、みんなで協力した校外学習となりました。同日、２年生は名古屋分散学習を行いました。班ごとに計画したルートを巡り、将来の働き方を考えるキャリア学習としては大きな一歩となりました。今回の活動の中では、集団としてのルール等において一歩立ち止まって考えることもありましたが、自由に行動することの責任を学び、次なるステップ(修学旅行)へ向けて、取り組んでいきたいと思います。そして３年生は、６月２日(火)～４日(木)に長崎・大阪への修学旅行へ行きました。中学校生活の集大成として、平和学習や人権学習において一人ひとりが目標を持って深く学び合い、仲間との一生の思い出を作ることができました。下記は、長崎平和公園で３年生がおこなった平和宣言です。

平和宣言



昭和20年(1945年)8月9日、ここ長崎に原子爆弾が投下されました。たった一つの爆弾が一瞬にして多くの人の命を奪い、平和な長崎の町を壊してしまいました。そして今もなお、被爆された方々はその時の辛い記憶や後遺症に苦しんでいます。あの日から81年が経ちます。長崎の街は見事に復興を遂げ、世界に名を広める平和都市となりました。現在も世界中から核兵器廃絶と平和への願いが捧げられています。私たちは長崎に来る前に「火垂るの墓」「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」というDVDを見ました。火垂るの墓では、戦争によって普通の暮らしが奪われ、幼い兄弟が苦しみながら生きていく姿が描かれていました。また、「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら」では、特攻隊として命を懸けた若者たちの思いや、大切な人を守りたいという願いが描かれていました。どちらの作品からも、「戦争は人の未来や夢を奪ってしまう」ということを強く感じました。もう2度と戦争を起こさないために、今生きている私たちにできることはなんだろうと考えなければなりません。

「今私たちにできること」。それは、「人権・平和」のことを、自分のこととして考えることです。世界平和を大きな視点で見ることも大切ですが、まずは身近なところからしっかり考えていきたいと思います。「一人ひとりの違いを認め合うこと」「相手の気持ちを考えて発言や行動をすること」「自分の周りに苦しんでいる人はいないかしっかり見ていくこと」私たちにもできることがあります。一人一人が自分を振り返り続けることが大切です。

「今私たちにできること」。それは「戦争のことを忘れない」ことです。大切なものを奪われ、悲惨な体験をした方々は、今では現実と考えられないほどの辛い体験をして、「2度と同じことが起きないように」と伝えてくれています。戦後の辛い状況下でも強く生き抜いてくださった人がいたからこそ、私たちは今平和に暮らすことができています。そのことを決して忘れずに、命を大切にして生きていかなければなりません。



この長崎で学んだことを胸に刻み、自分たちの周りから平和を作り、広げていくことを誓います。

令和8年6月3日　成徳中学校　3年生一同

１学期まとめの時期に入ります　～1学期のゴールを目指して！ラストスパート～



いよいよ１学期もまとめの時期に入りました。日増しに暑さが厳しくなる中ですが、生徒たちは日々の学校生活を元気に送っています。朝から元気な声で挨拶をしてくれる人も多く、私たち教職員もたくさんのパワーをもらっています。

６月８日(月)に、熱中症対策についての文書を配布させていただきましたが、学校では引き続き、こまめな水分補給や無理のない活動を心がけてまいります。ご家庭におかれましても、子どもたちが元気に登校できるよう「しっかり朝ごはん」「多めの水分」「十分な睡眠」の３つを意識したサポートをよろしくお願いいたします。特に、夜遅くまでスマートフォンを見ていて睡眠不足になってしまうことは、熱中症のリスクを高め、体調を崩す大きな原因になります。規則正しい生活習慣を維持できるよう、今一度ご家庭での見守りや声かけをお願いいたします。

さて、生徒の皆さんは、６月16日(火)からは３日間の期末テストが始まります。最近の教室からはいつも以上の集中力が伝わってくると同時に、生徒たちの間からは「勉強がんばらなきゃ」「でも、テスト嫌だなあ……」といった本音の会話も聞こえてきます。そんな風に葛藤し、悩みながらも、目標に向かって、努力を重ねる姿自体がすでに大きな成長だと思っています。そして、１学期のまとめは、自分がこれまでどれだけ成長したかを確かめるチャンスです。暑さに負けず、まずは体調をしっかりと整えながら、自分のペースでベストを尽くしてください。皆さんの頑張りを、心から応援しています！

徒然なるままに
校長のつぶやき帖

「情けは人の為（ため）ならず」

みなさんは、この言葉の意味を知っていますか？「人に優しくしすぎるのは、その人のためにならない(甘やかすのはよくない)」という意味だと勘違いされやすいのですが、実は全く違います。本当の意味は、「人に親切にすることは、まわりまわって、いつか必ず自分に良い結果となって返ってくる」ということです。

クラスの雰囲気を変えたい、良い友だちを作りたいと思ったとき、私たちはつい「誰かが声をかけてくれないかな」「まわりが優しくしてくれたらいいのに」と、相手が変わることを待ってしまいがちです。でも、居心地の良い場所は、待っているだけではやってきません。まずは「自分」が少しだけ変わること、自分からの関わり方を変えてみることがスタートになります。例えば、一人でいる仲間に「次の授業、移動教室だよ」と声をかけてみる。きつい言葉を使いそうになったとき、一歩立ち止まって優しい表現に変えてみる。誰かが失敗したときに「大丈夫？」とフォローする。こうしたあなたの小さな一歩、優しい行動こそが、クラスの中に「あたたかい空気」を作っていきます。いじめを許さない雰囲気も、あたたかいクラスの雰囲気も、誰かが作ってくれるものではありません。みなさん一人ひとりの「小さな思いやり」の積み重ねが作っていくのだと思います。そして、そうやってあなたが誰かに差し伸べた優しさは、いつかあなたが困ったとき、寂しいときに、必ずあなたのもとへ返ってきます。そのときあなたのまわりには、きっと信頼できる「真の友だち」がいるはずです。



１学期のまとめの時期、勉強や部活動にラストスパートをかけるとともに、自分の「まわりへの関わり方」も少しだけ振り返ってみませんか。みなさんの優しい行動が、この学校をさらにあたたかい場所に変えていくのを楽しみにしています。

★成徳中ホームページ

https://kuwana.schoolweb.ne.jp/24030029?page_id=15

ホームページです。少しずつ発信していきます。

成徳HP